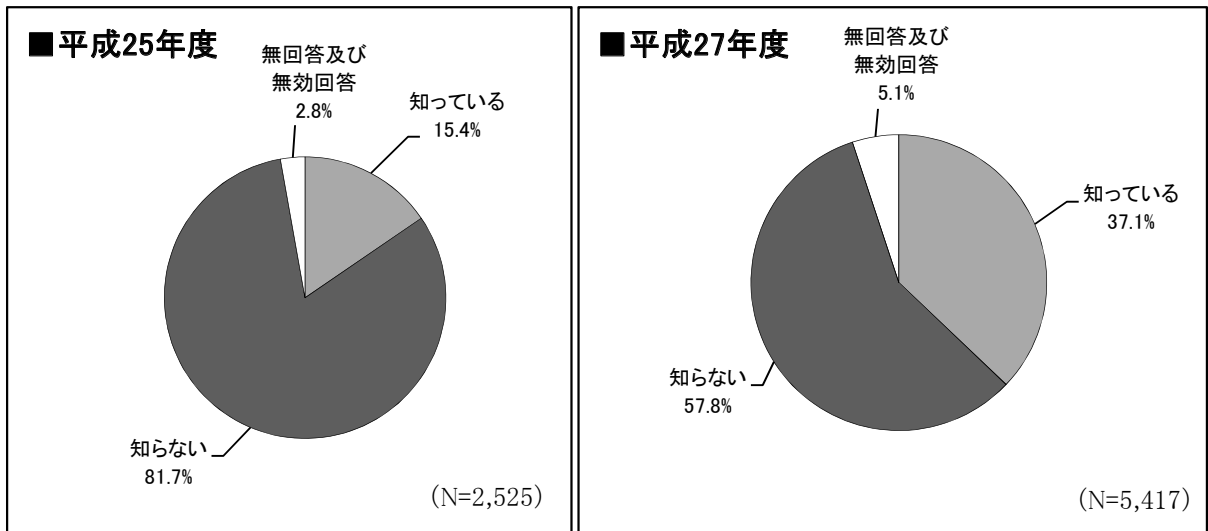


第12章 ESDについて

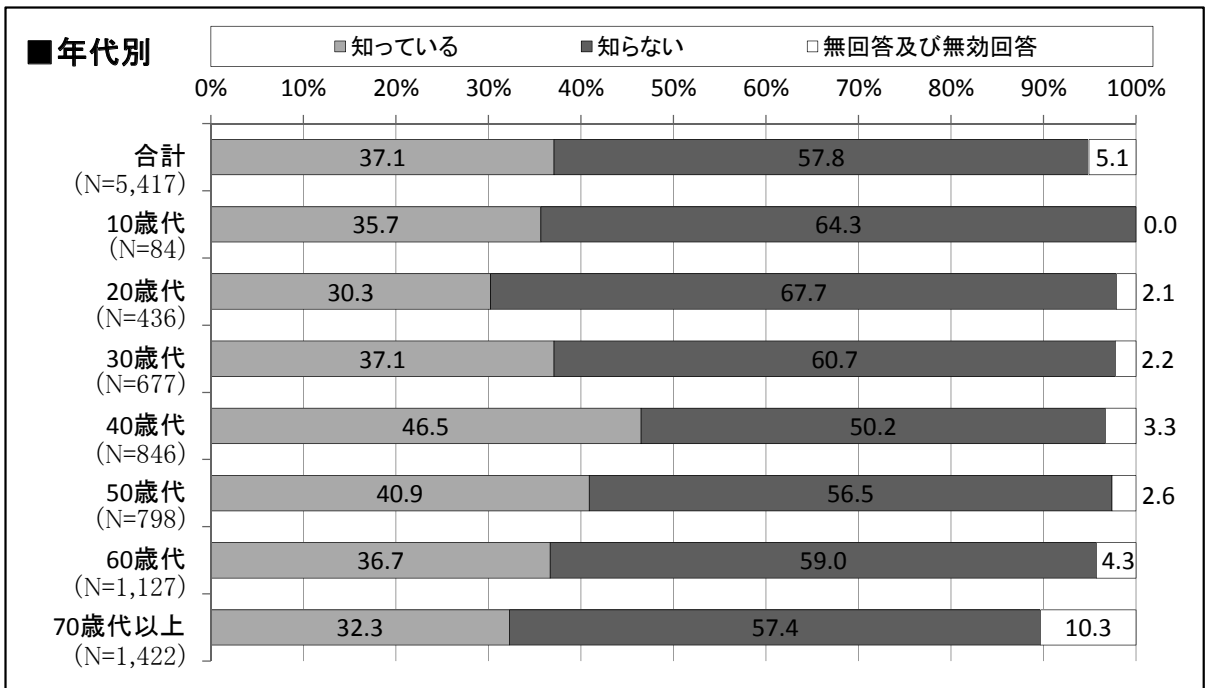


今、私たちの周りには、環境や多文化共生、防災、人権、平和など、様々な問題があります。ESD(Education for Sustainable Development「持続可能な開発のための教育」)とは、これらの課題を自分の問題としてとらえ、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな気づきと行動を生み出すことを目指す学習活動で、昨年10月、11月には「ESDに関するユネスコ世界会議」が本市で開催されました。

【問31】あなたはESDという言葉を知っていますか。



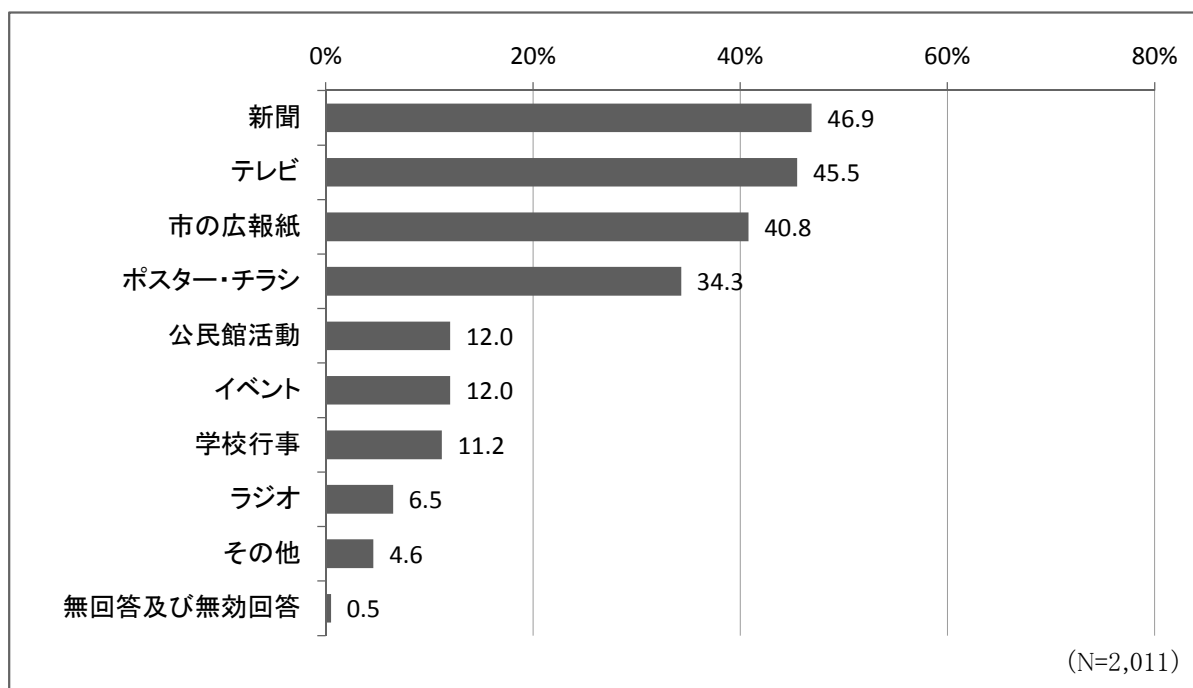
・ESDという言葉を知っている」と回答した人は全体の37.1%で、前回よりも21.7%と大幅に増えている。



・ESDという言葉を知っている」と回答した人の割合が最も高いのは40歳代で、46.5%である。  
 ・どの年代においても、5割以上の方がESDという言葉を知らない」と回答している。

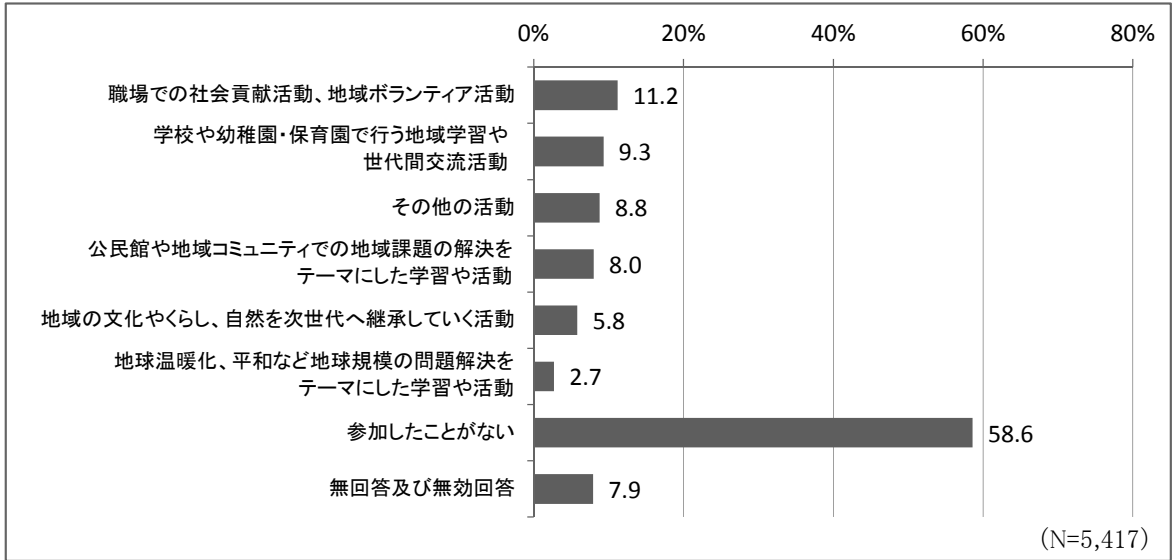
【問31】で「1.知っている」と答えられた方におたずねします。

【問31-1】何で知りましたか。(複数回答)

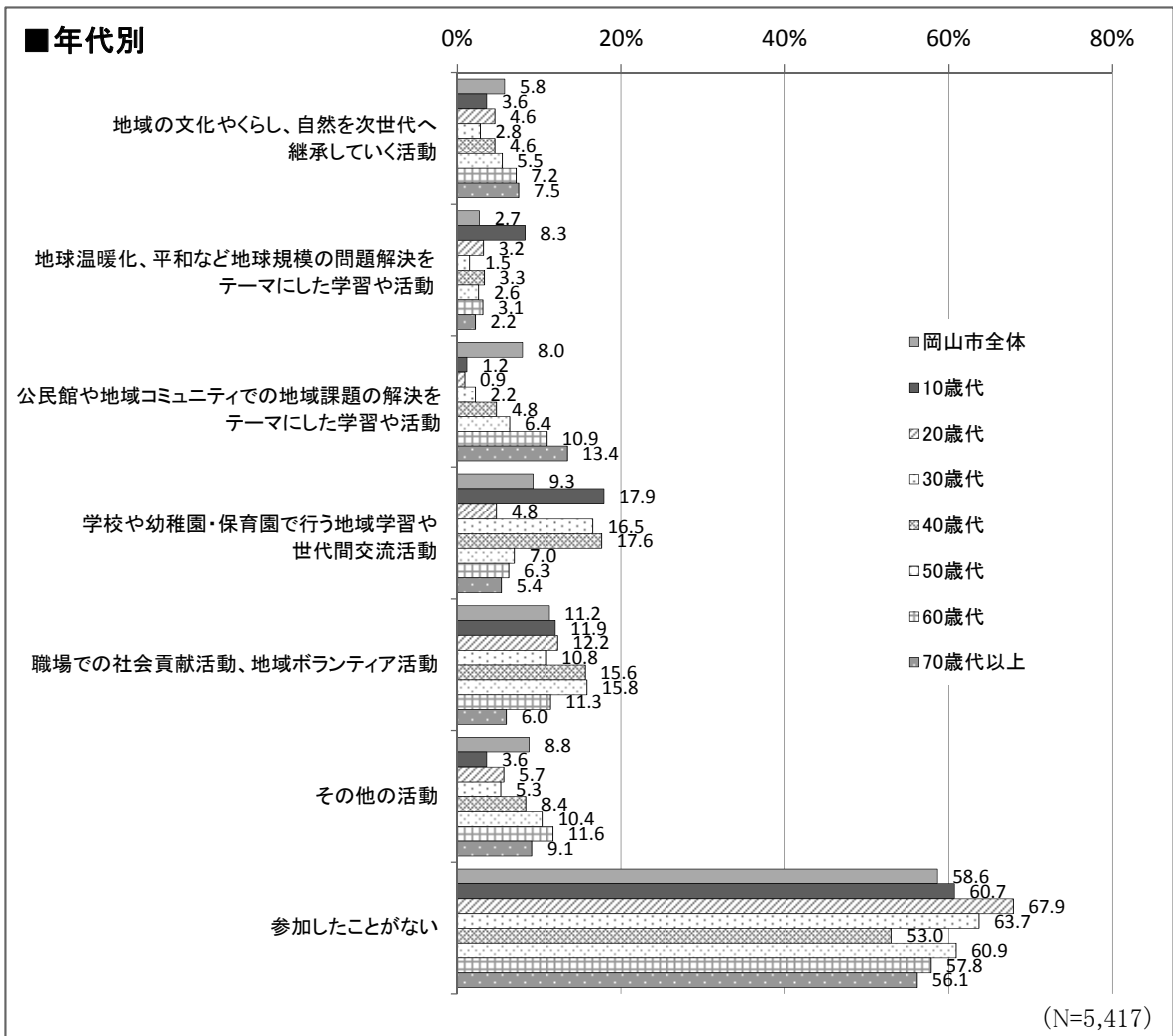


・「新聞」と回答した人の割合が最も高く46.9%、次いで「テレビ」が45.5%である。

【問31-2】あなたは、過去2年間で、以下のような活動に参加しましたか。(複数回答)



- ・回答されている活動の中では、「職場での社会貢献活動、地域ボランティア活動」が最も高く、11.2%となっている。
- ・過去2年間で、何らかの活動に「参加したことがない」と回答した人の割合は、58.6%となっている。



- ・年代別に見ると、何らかの活動に「参加したことがない」と回答した人の割合が最も高くなっているのは、20歳代である。